

Stay Gold



70 回生学年主任 **丹生 憲一**

考查一週間前に入りました。

今年は空梅雨だと思っていましたが、先週の水曜日には、しっか^り降りました。It never rains but it pours. (「降ればどしゃぶり」)そして、この週末にも雨。乾ききった空気に少し潤いが戻った気がします。

22 日(木)の 7 時間目には**人権講演会**が開かれました。**金信志先生**(現香寺高校教員:2 年前まで本校教員)が「**これまで と これから**」と題して、在日コリアン 4 世としてのこれまでの人生、過去に 2 回も心が折れるような差別を受けながら、それを恨み続けるのではなく、**常に考えて行動を起こしていく**ことで周囲を変え、自分の気持ちも変えて来られた生き様を話してくださいました。私は金先生と同じ年に柏原高校に着任し、4 年間サッカー部の顧問として行動を共にしたので、あの二回の「差別体験」はリアルタイムで聞いています。当時も「**今でもそんな考えの人がいるのか!**」…と憤りを感じましたが、同時に自分の心にもそんな気持ちが隠れているのではないかと考えて怖くなりました。黒人差別も、女性差別も、部落差別も…完全に解消された差別などないように思います。「**これは私個人の話であって、在日コリアンを代表して話すわけではない**」とはおっしゃいましたが、ヘイトスピーチを行う人がいたり、「北朝鮮がミサイルを発射した」と報道されると朝鮮学校の生徒に対して罵詈雑言が浴びせられたり…ということは未だに続いているのです。現実目に向け、考えることを止めず、正しく生きたいものです。「**未来は常に過去を変えている**」「**心は熱く 頭は冷静に**」…どんな言葉が印象に残っていますか?あの後、金先生とはかなり長い時間、(お酒を飲みながら)話す時間が持てました。「今の学校の子供たちは境遇的に恵まれず、精神的にも弱っている子が多い。でも、底辺ではないと思う。これ以上に『しんどい』子らに会うために、次は定時制高校に行きたい。サッカーはいつでもできるので!」と熱く語っておられました。進研模試の成績データを見ながら、「成績が伸びないな〜」などと目の前のことにとらわれて、乾きかけていた心にも潤いをもらいました。

<7 月の行事予定>

(カ) スクールカウンセラー来校日

日	月	火	水	木	金	土
	26 はちまき返却	27	28	29	30 考查初日	1 就職求人票受付
2	3 考查②	4 考查③	5 考查④	6 考查⑤ 壮行会・講演会	7 球技大会 進研模試	8 進研模試 就職公務員模試
9	10 <午前中授業>	11 ビブリオバトル	12 (カ)	13	14	15
16	17<海の日>	18 生徒会選挙	19 ちょボラ	20 終業式 大掃除	21 前期補習①	22
23 	24 前期補習②	25 前期補習③	26 前期補習④ (カ) Kent 短期留学来校	27 前期補習⑤	28 前期補習⑥	29
30	31 前期補習⑦	8/1 知探コース説明会	2 オープンハイ①	3 オープンハイ②	4 	5

「なろうと思えばなれる」

金先生が教員になろうと思ったきっかけを話されるのを聴きながら、大学時代の出来事を思い出していました。

私は大学入学時、英語の教員になりたいと思っていて、周囲にもそう話していました。しかし、当時はバブルの絶頂期。「国立大学」「体育会」といえば、大手企業から勧誘の電話が絶えず、「行きます」と返事すれば内定がもらえる時代です。(…あくまでも、私の周囲での話です) 仲間が5月ごろから次々と内定をもらっていくなかで、教員採用試験の倍率は3倍…。部活、バイト、卒業論文に追われて思うように勉強の時間がとれず、不安になってきました。それだけでなく、真面目に勉強している自分が時々あほらしく思いました。そんな時に都市銀行に勤める先輩から誘いを受け、「採用試験に受かったら断ってもよい」という条件で内定をもらったのです。

私が所属していたアメリカンフットボール部のコーチ(在日コリアンの先輩)が、採用試験を1か月後に控えた6月のある日、飲みに行こうと誘ってくれました。

「どうや、丹生、先生にはなれそうか？」

「…それが、自信もあまりなくて、M先輩に誘われて銀行の内定をもらっておきました。」

「…それで、試験に受からなかったらどうする？」

「とりあえず、銀行に行きます。しばらく勤めて、その経験を活かして先生になるのもいいかな…と。」

先輩の顔が曇りました。

「…そうか。…俺も、ほんまは先生になりたかった。でもなれへんかった。なんでか、わかるか？」

「…いいえ。」

「朝鮮人やからや。国籍が違うから先生にはなれへん。スーパーには就職したけど、悔しくてロッキー(映画『ロッキー』の主人公)みたいに、ぶら下がった肉を殴ってた。お前には先生になってほしい。なろうと思えばなれるやないか？石にかじりついてでもなってくれよ！」(その後、先輩は商社を興され、日韓を行き来されています)

ショックでした。「在日」の歴史も「国籍条項」も知らなかったのですから…。あの日がなかったら、今の自分はありません。金先生の話の中にも、「ならない」と「なる権利がない」のは違うという言葉がありましたよね。私が学生の頃からは制度も改善され、教壇には立てるようになりましたが、「呼び方は教諭ではなく任用期限を付さない常勤講師」、「管理職・主任などにはなれない」…苦い思いに変わりはないかもしれません。

よく、「私は〇〇になりたいけど、無理」という言い方をする人がいます。「なろうと思えばなれる」んですよ。「ハーバード大学に行きたいけど、無理」「行こうと思えば行ける」んですよ(…きっと)。自分達に与えられた権利、力を使う前から捨てたりせず、がんばりましょう。なりたくてもなれなかった人のためにも…。

そして、「なりたくてもなる権利がない」ということのない社会を築いていきたいものです。



* 「なりたい自分になるために」

夏期補習・夏期学習会を計画しています。先週、開講予定の科目一覧と日程が配布されました。29日(木)が〆切になっていますので、積極的に参加してください。ただし、コマを埋めればよいというわけではありません。自習する時間を確保して計画を立てましょう。案内が遅れていますが、補習時間が終わってからの夜の時間帯(16:30~20:00)の柏陵会館を開放して「サマーキャンプ」開催予定です。「1日10時間勉強するぞ!」等と目標を立てても、自宅では実行が難しいと言う人は、学校の施設を利用して仲間と共に学習を進めましょう。